

# ぐりーんず greens

第20号

2018.5 発行

理念：地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

## 基本方針

- ・本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



## 病院長ご挨拶



平成30年度初頭に際しまして、ご挨拶を申し上げます。

まず当院は4月1日をもちまして、無事に501床 全床開床できましたことをご報告申し上げます。これも地域医師会の先生方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。これをもちまして成人・小児病棟共に病床の収容能力に予備力ができましたので、先生方のNeedsにさらにお答え易くなると存じ上げます。

同時に救急体制の見直しをいたしました。既にスタートさせている当院内科のベテラン Doctorsによる受診相談やこの度スタートさせる医師会の先生方からの直接の救急要請を断らないシステムをさらに充実させていきたいと存じ上げます。これにより救急不応需率を限りなくゼロを目指して努力していきたいと存じ上げます。さらに、集中治療科などの高度急性期医療を担う診療科の充実を図っていきたく存じます。

さらに、次世代を見据えた当院の新たな取り組みとして、八千代市周辺の地域包括ケアシステムへ大きく貢献していくことが重要な課題であると考えております。今後は、一病院のみで医療を完結するのではなく、地域の行政や医療システムを皆様方と上手く連携する循環型の医療体制構築が地域医療には無くてはならないと思われまます。そのケアシステムに貢献するための一助として当院に入退院支援センターを4月より新たに立ち上げました。この支援センターによりさらに、地域医療に大きく貢献できるのではないかと考えております。この医療連携の仕組みを地域の皆様と共に育てていきたいと存じ上げます。

その一環として、皆様と共に、平成30年9月30日(日)「やちよ健康フェスタ」に 東京女子医科大学理事長 吉岡俊正先生ご参加のもとに、地域包括ケア構想に関するシンポジウム(仮題)を、八千代医療センターにて開催致します。この会をkick offとして地域包括ケアを考える会(仮題)を立ち上げていきたいと存じ上げます。

今後とも益々のご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

平成30年5月  
病院長 新井田 達雄

## 新副院長就任ご挨拶



平成30年4月1日付けで、八千代医療センター 看護局担当副院長・看護局長として着任いたしました松村幸美と申します。

私は、約38年間、東京女子医科大学東医療センターで勤務して参りました。東京都区東北部の2次医療圏で高度急性期病院としての役割を果たすために、地域の看看連携の強化のために顔が見える関係づくりを推進してきました。

八千代医療センターでは、八千代市在住の方々ご支援、ご協力の下、皆様との連携が強く、さまざまな健康促進に向けたイベントを通して信頼関係を築き上げています。また、医療機関におきましても、八千代市をはじめ、千葉県東葛南部、近隣地域を中心に連携を深め、地域完結型の地域医療を推進していると聞いております。

八千代医療センターは、小児救急医療および総合周産期母子医療センター、救命救急センターを持ち、周産期・小児から成人すべての発達段階に応じた救急医療、さらに、がんセンター、ハートセンターなど専門領域に特化した診療まで、あらゆる分野の医療が提供できる高機能病院であると認識しています。

今回の八千代医療センターへの異動は、千葉県白井市在住の私にとりまして、千葉県東葛南部の医療圏の保健・医療・福祉のニーズに合った医療・看護の提供、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として、八千代医療センターの役割を果たすため、更なる発展に寄与、邁進しようと決意を新たにしております。

地域住民の皆様の健康保持増進に貢献するための具体的な柱として、看護局は、東京女子医科大学の理念である「至誠と愛」を基に、医療安全の推進、人材育成、労働環境の改善、病院経営に参画する、この4点に注力する所存です。

高機能病院として、地域医療を推進するために「信頼される病院」を目指します。それには、安全で安心した療養環境を提供しなければなりません。一人ひとりの看護師が自分自身の行為に責任を持ち、意図的に看護を実践し、その結果をしっかりと受け止め、次に繋げていくマネジメントができる組織にしていきます。

次に、人材育成、教育の強化です。医療がどんなに高度化しても、患者さんの闘病生活に於いて、気持ちを理解し少しでも安楽な生活をおくっていただくには、人の温かい心と手が看護には必要です。看護実践はまさに、「至誠と愛」を行動で表現できる場面だと考えています。この心を持ち、自分の行動とその根拠を一致させ、納得しながら実践できる看護師を育成します。八千代医療センターには、それぞれの専門領域を持つ、専門看護師、認定看護師が25名と多数おります。また、教育担当者としてクリニカルコーチを配置していますので、それらのリソースナースを活用して更なる看護力アップを目指して参ります。各々の看護師が自分の看護師としてのキャリアを積み重ねながら自分らしく成長できるよう支援します。また、リソースナースは地域医療機関の方々にも活用していただき、地域全体の看護力推進にも貢献できるとよいと考えます。

そして、労働環境の改善では、人材(人財=人は宝)の確保が私の重要な仕事と捉えていますが、限られた人材で効率よい仕事ができるよう業務整理、多職種との連携でタスクシェア・タスクチェンジを推進し、各々の専門性を発揮しながら自分たちの力で改善に導けるよう支援していきます。

最後に、社会情勢、人口動向、疾病構造に伴い、医療状況も変化してきます。平成30年度診療報酬改定でも更なる地域包括ケアの推進、高度急性期病院の位置づけの明確化が進められています。八千代医療センターの機能が促進できるよう看護局の役割を推進して参ります。

これからも、看護局一同力を合わせて、地域の皆様、地域の医療機関の皆様、特に、看護関係の皆様と連携を図り、医療連携促進に邁進して参ります。

どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

看護局担当副院長・看護局長 松村 幸美

## 糖尿病・内分泌代謝内科



八千代医療センター糖尿病・内分泌代謝内科を担当しております大沼でございます。昨年5月に着任し、このたび5月1日付で科長を拝命いたしました。

地域の医療連携により医療機関同士が相互に円滑な連携を図り、それぞれが有する特徴的な機能を有効活用することにより、患者さんは地域で継続性のある適切な医療を受けることが可能になります。

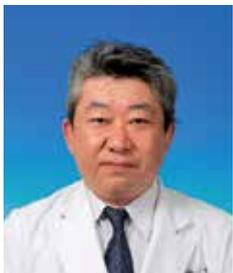
当科では、比較的まれな疾患である内分泌代謝疾患ならびにcommon diseaseである糖尿病を主に担当しております。質は異なりますが、両分野とも医療連携を効率的に行い、適切な介入を行うことにより、地域の患者さんのQOLの改善ならびに医療の質の向上が担保

できると考えております。

これまでと同様に、八千代市をはじめ各地域の医療機関と円滑な連携ができますよう、皆様のご協力を賜りながら精進して参りたいと思います。ご指導・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

科長 大沼 裕

## 心臓血管外科



平成30年1月より八千代医療センター心臓血管外科長に着任いたしました。東京女子医科大学本院 心臓血管外科および基幹病院において虚血性心疾患・大動脈瘤・弁膜症・不整脈・重症心不全・先天性心疾患など、全ての心疾患に対し、「患者様にとって最も質の高い治療」を重視した外科治療をめざしてまいりました。

我々の教室では豊富な症例数を誇り後天性心疾患の分野では多くの合併症を有する重症例から植込み型補助人工心臓や心臓移植、さらには血管内治療(ステントグラフト)といった高度先端医療にも取り組んでおります。また、先天性心疾患の分野では新生児の重症心疾患をはじめ、当科の長い歴史を反映して現在トピックであるadult congenital cardiac surgery(小児期に心臓手術を受けられた方の再手術)も盛んに行っております。

いままでの数多くの経験を生かし、循環器内科・小児科・麻酔科・臨床工学室・各部・看護局と密に連携し、地域有数の手術数と手術成績を挙げ、特に高度な治療技術を提供できる医療をめざし努力してまいります。さらに疾病を治すことだけでなく、病気に苦しむ人に、最新かつ高品質な医療と心地の良い療養環境をお届けするように努めますので何卒よろしくお願い申し上げます。

科長 富岡 秀行



## お知らせ

ご紹介の際は、紹介状(診療情報提供書)をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

### 医療機関からの診察・検査連携のご予約(地域連携直通)

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00～17:00・土曜日 9:00～13:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4)はお取扱していません。

※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させていただきます。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

### 医療連携マネージャー(医師)

緊急を要する当日(日中)のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせていただきます。ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

### 検査連携(医療機関から申込)

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

応需検査:CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィ、骨密度測定、セファロの画像検査

### 患者さんからの診察のご予約(予約センター)

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00～16:00・土曜日 9:00～11:30

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4)はお取扱していません。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

### やちよ夜間小児急病センター(中学3年生までの小児対象)

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00～23:00

医療相談は行っていません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

### 平成29年度地域医療連携フォーラム開催報告

平成30年2月10日(土)にウィシュトンホテル・ユーカリにて「平成29年度東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」を開催致しました。当日は八千代市医師会及び歯科医師会をはじめ、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域医療支援病院における連携登録医の先生方、メディカルスタッフ、行政機関の皆様を含め、各関係機関より143名の皆様にご出席頂きました。

第1部では公益社団法人全日本病院協会副会長 神野正博先生から「平成30年度診療報酬改定と地域医療連携」のご講演を頂き、診療報酬改定に向けた取り組み、地域医療連携の重要性について判り易い解説、明日から実践する必要性を改めて認識させられる機会を共有させて頂きました。

第2部では意見交換会・懇親会を通じ各職種間の幅広い交流の機会になったと考えております。

今後もフォーラム等の機会を通じ、地域医療の更なる推進・充実に邁進してまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻、宜しく申し上げます。

なお、平成30年度は平成31年2月2日(土)の開催を予定しております。



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000(代表)

FAX 047-458-6545

医療支援室地域連携 TEL 047-458-6543(直通)